



「昨年3月議会で削減案が出された精神障がい者医療費助成は、いったん取り下げましたが、今年の6月議会で再び提案があり、賛成多数で可決して、なお12月議会に見直し案を出すという心もとない施策です。これは障がい者団体との十分な対話できていないからです。」

6月議会補正予算

障がい者医療費助成

「心身障がい者の医療費助成を現行維持に」の請願は全議員が賛同したのに…

削減する補正予算案が可決



障がいとはちがう病気で入院することだってあるのに…

就労が難しい。無年金者もいる。

入院したら平均で月3万円。3千円の補助はあまりに低い。

心身障がい者の医療費助成を削減

乳幼児の医療費助成を就学前まで拡大

二つセットの補正案です



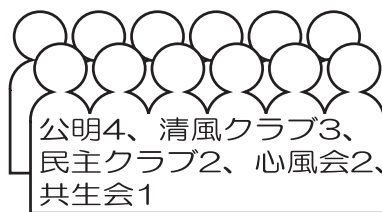
助かるわでも引き換えに障がい者の助成が減るの？

削減内容

- ☆精神障がい者保健福祉手帳1・2・3級の方は入院補助廃止
- ☆3級の通院は市町村民税非課税世帯に限り助成
- ☆療育手帳Bの入院が市町村民税非課税世帯のみ助成
- ☆障がい者、乳幼児、ひとり親の入院時の食事療養費助成廃止

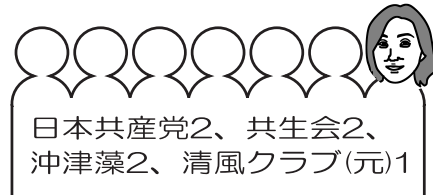
付帯決議がつき上限で月額3千円の入院補助がつけられた

賛成12



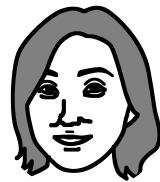
公明4、清風クラブ3、民主クラブ2、心風会2、共生会1

反対7



日本共産党2、共生会2、沖津藻2、清風クラブ(元)1

三原の意見



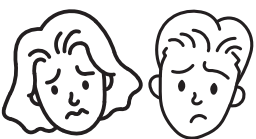
日本共産党名張市議団は長年にわたり乳幼児医療費助成の拡大を求めてきました。

また、今回の補正予算案の他の案件には納得できるものもありました。しかし市民の生活をおびやかすこのような案件が含まれる以上、私達は賛成することはできません。

このような抱き合わせの議案は適正ではなく、各々審議されるべきものです。

予備費等を活用して1千3百万円追加すれば乳幼児医療費助成は拡大しながら障がい者医療費助成も続行できます。市はお金がないと言いますが、自助努力に限界のある人には行政のセーフティネットが不可欠です。亀山市、桑名市では市単独の助成を続けています。名張市も障がい者の声を聞き、実情をくみとって助成を続行するべきです。

自公政権が進めた小泉改革がこんなにも地方自治と弱者の生活を苦しめています。大型公共事業、軍事費、大企業減税のつけが社会保障費の削減にまわっているのです。



6月議会で削除し、その後3千円補助を決め、さらに…

市長は12月議会に見直し案を出すと言っています

見直す、といっても内容は不明です

三原じゅん子は市民の立場で改正を求めていきます

